

2024年春渡航



現地のバディに臆せず積極的に話しかけることで英語を話すハードルを下げることができました！



工学部 情報工学科 1年 柳岡 優作さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・UTM

まず、自分が今回の語学研修プログラムに参加した理由は、2年次のPBLで海外の方と活動するための練習の機会にしようという気持ちで参加しました。自分は海外に行ったことがなく、語学どころだけでなく海外ってどんな感じなんだろうという気持ちで臨みました。

今回分かったのは「英語力は2週間で変わるほど甘くないな」と言うことです。今回参加したプログラムの特徴として、一対一での「バディ制度」があり、留学前は話す機会があり、スピーキング能力、リスニング能力なんて参加するだけで向上するんじゃないかという浅はかな考えのもと参加しました。しかし、実際は自分から話しに行く積極性がないと最低限の会話で一日が過ぎてしまいます。もちろん現地での英語の授業がありますが、内容は簡単なもので自分で授業での課題をこなしつつ、空いている時間に自分のバディ以外の現地の学生に積極的に質問や世間話などすることで英語を話す機会を自分で作っていきました。そこで自分の拙い英語の能力でもそこそこ話せるんだということに気づけて海外の方を相手に臆せず話せるようになりました。

また、1年生ながらもプログラムの全体リーダーという貴重な体験をさせていただきました。そこまで仕事が多いということではありませんでしたが、人前でリーダーとして話す、全体をまとめるなど今まで自分の人生の中であまり経験できていなかったことを経験をすることができました。

このプログラムに今後参加を考えている人は英語の能力やTOEICの点数を上げてやろうとか身構えずに、自分の英語どれくらい伝わるんだろうとか、海外の人どんな話題好きなんだろう気軽な気持ちで参加して欲しいと思います。あわよくば全体リーダーとして参加して、現地の無茶振りに振り回れてください。きっと面白い経験ができると思います。



英語に慣れるだけでなく、海外の文化を肌で
感じることができました。

工学部 機械工学科 2年 伊藤 晴輝さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可・ 不可

派遣先：マレーシア・UTM

私が語学研修に参加した目的は、英語のスピーキングとリスニングの能力を伸ばすためというよりも、実際に海外の文化を肌で感じたいと思ったからです。また、このプログラムを選んだ最大の決め手はバディ制度です。私は、英語でコミュニケーションをとることに自信がなく、また、海外へ行ったこともなかったので、バディがついてくれることで安心してプログラムに参加することができると思いました。

滞在期間中のスケジュールは、主に夕方5時までは授業かアクティビティ(施設見学)を行い、その後は自由行動です。自由行動はバディと、バディと仲の良い友達と、その日本人バディとで複数人で行動することがほとんどで、バディの人達が毎日色々なところに連れて行ってしてくれます。行きたいといったところは連れて行ってくれますし、食べたいものも全部食べさせてくれます。おかげでマレーシアを十分満喫することができました。

初めは、初めての海外で2週間は少し長めかな、と思っていましたが、全然そんなことはなく、とても充実していて一瞬で終わってしまいました。このプログラムで学んだことは、それほど流暢にしゃべることができなくても、まず伝えようとするのが大事だということです。現地学生はみんなとても優しいので、拙くていいからとにかくコミュニケーションをとってみてください。コミュニケーションが取れて楽しいと感じられれば自ずと英語の知識も頭に入ってきます。また、このプログラムに参加したことで異国の文化や生活を肌で感じるができ、自分が知らない世界がまだまだあるのだと知ることができました。もし参加するの悩んでいるのであれば、ぜひ思い切って参加してみてください。絶対に損にはならないし、日本には決してできない様々な経験をすることができます。



初海外でしたが、現地の人も優しく
貴重な経験をすることができました。

工学部 土木工学科 1年 浅原 皓輝さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先：マレーシア・UTM

今まで海外に行ったことがなく、大学生のうちには一回は行っておきたいと思い、今回の語学研修のプログラムに参加することを決めました。マレーシアにした理由としては、旅行などではあまり行く機会がなさそうであり、日本では経験したことのないような経験ができると思ったからです。

プログラム期間中は、午前と午後両方3時間ずつぐらい授業があるのは2日程で、それ以外の日は、午前か午後の片方の授業であったり、現地の学生とのアクティビティや様々な場所を見学に行ったりなどでした。1週間に1回程度は自由な日があって現地の学生と遊びに行ったり、スポーツを行う日などもありました。授業も内容自体は簡単ではありましたが、その内容を英語で理解するといったことで、英語のリスニング力は多少向上したと感じました。

そして、このプログラムの最大の特徴であると言えるのがバディ制度だと思います。バディは基本最初から決められており、女性には女性のバディ、男性には男性のバディの人も女性のバディの人もいました。大体はバディと一緒に行動しますが、夕食などではバディの友人と一緒に何人かのグループで行動することも多くありました。そのため、現地の学生との関わりは自分から話しかけに行かなくてもある程度は持てるようになっていたと感じました。もちろん、自分から話しかけに行けば、現地の学生の多くがフレンドリーに話してくれるので、沢山の人と仲良くなりたいのであれば、どんどん話しかけに行くのがいいと思います。期間は2週間と長いわけではなく、自分自身も英語をペラペラに話せるようになるといった目的で参加したわけではありませんが、参加したことによって、現地の学生にこの物事を伝えるにはどう英語で言えばいいのかなど、日本ではあまりないような機会が多くあったのでそういった英語での表現力は向上したのかなと思いました。他にも、本来の目的の一つでもある日本では経験しないようなことも沢山経験することができたので、そういった点でも有意義なものになったと思います。



文化も気候も違う土地で生活をして、バディと話す
ことで聞く能力が少し向上しました。
また英語への勉強の意欲も向上しました。

工学部 応用科学科 1年 中村 大翔さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否 : 可 ・ 不可

派遣先 : マレーシア・UTM

私がこのプログラムに参加しようと思ったきっかけはいたって単純で海外経験をしてみたかったからです。はじめは英語に少しでもなれるため、まずは海外に行こうと思い決めました。

マレーシア工科大(UTM)でのプログラムでは毎日多忙で朝から晩まで予定がありました。朝から運動する日もあれば、授業を受けたりし、バディと一緒に昼ご飯を食べ、夕方になるとバディと日本人学生とともに出かけ、毎日充実していました。授業では実践的な英語学習に加えレクリエーションを織り交ぜて授業をしてくれていたおかげでかなり受けやすい雰囲気と、ほかの日本人留学生との交流も図れました。授業外ではバディたちと出かけ、運動する日もあれば少し観光する機会もありました。大変優しい方々で、いつも自分の面倒を見てもらい、とても心強かったです。文化交流では互いに文化を教えあい、いろいろなことを教えました。また、マレーシアの文化にも触れてとても楽しい時間でした。

二週間は長いように思えますがとても一瞬です。ついこの間バディと知り合ったかと思えばもう帰国でとても悲しかったです。しかし、良い友人と出会え、良い英語を学ぶ機会だったと思います。これから参加をしようと思っている人や不安を抱いている人も多いと思います。しかし、日本では経験できないような体験や、感動がここにはありました。自分がここまで楽しいと思ったのは今まで生きていて初めてでした。これからの展望ですが6ヶ月の留学にチャレンジしようと思っています。この短期間の留学を通して学んだことは多いですが、俯瞰してみればまだまだです。UTMの人たちは大変博識で心優しくあったからこそまた行きたいと思いました。なのでこれからまた留学に参加して、もっと英語の力を伸ばすとともに、異文化にも触れていきたいと思っています。



バディや現地の学生との活発な交流によって英語のコミュニケーションスキルが上達しました！

工学部 土木学科 1年 松永 紘汰さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可・ 不可

派遣先：マレーシア・UTM

以前gPBLに参加した際に、現地の学生と英語でコミュニケーションをし、現地の生活を体験する楽しさを実感したため今回参加したいと考えました。今回、私はひとりも知り合いがいない状況で参加しました。ですがバディとの交流や授業、アクティビティを通してたくさんの友達を作ることができました。授業外ではバディとの交流がほとんどでした。そこでは英語でバディと交流するため、リスニング、スピーキング力が鍛えることができると思います。私の弱い英語力では理解が難しいときはスマホの翻訳機能などを使いました。そのためコミュニケーションで困ることは一切ありませんでした。また、マレーシアは英語が盛んな国なので、英語力が優れている方が多く、こちらの言いたいことをすぐに理解して対応してくれました。バディたちと冗談を言い合ったり、日本文化などを楽しく紹介したりするのはとても楽しかったです。

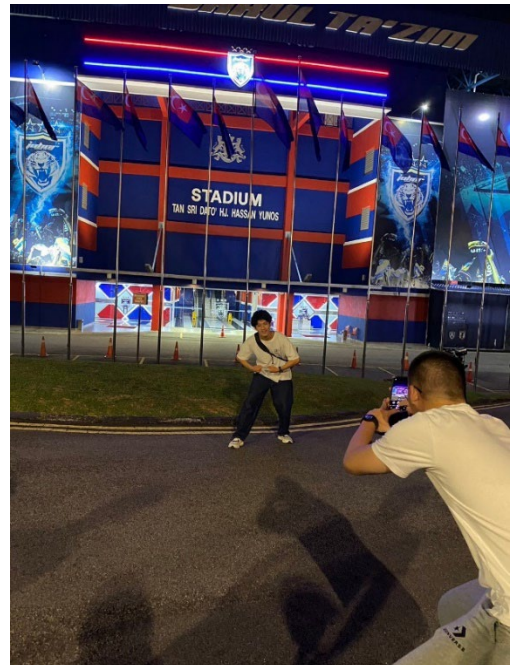
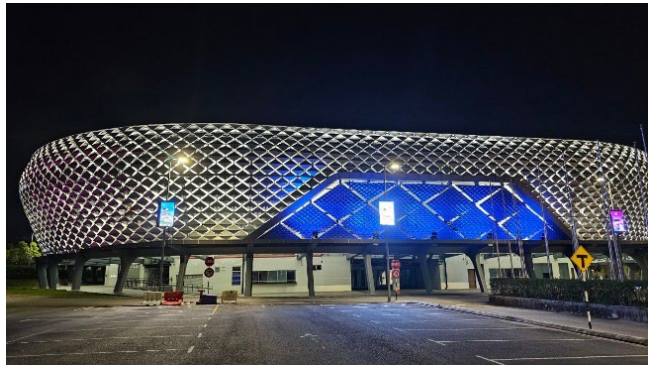
ほとんどの日は授業後にバディたちとマレー料理や中華料理、また、デザートなどを食べに行ったり、行きたい観光地などに連れて行ってもらいました。マレーシアは日本食など多種多様な食事があり、飽きることもなかったので、食事に不安な人でも大丈夫だと思います。またバディが食べたいものやアレルギーに気を使ってくださり何一つ問題なく二週間過ごすことができました。マレーシアは物価が安く、最終的にお金もそれほど使いませんでした。

今回この活動ではマレーシアとシンガポールの国境の町であるジョホールバルという場所に行きました。首都のクアラルンプールとはかなり離れていて観光でもなかなか訪れることができない場所だと思います。私はこの活動を通して英語力だけでなく、様々な文化があふれているマレーシアのすばらしさ、英語で海外の方と仲良くなる楽しさを知ることができました。今後もこのようなプログラムに参加したり英語の勉強を自分でも頑張りたいと思います！

2024年春渡航



工学部 土木学科 1年 松永 紘汰さん





マレーシア人のバディと英語でコミュニケーションをとることにより英語学習のモチベーションが高まりました！

工学部 情報通信工学科 2年 武田 基さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・UTM

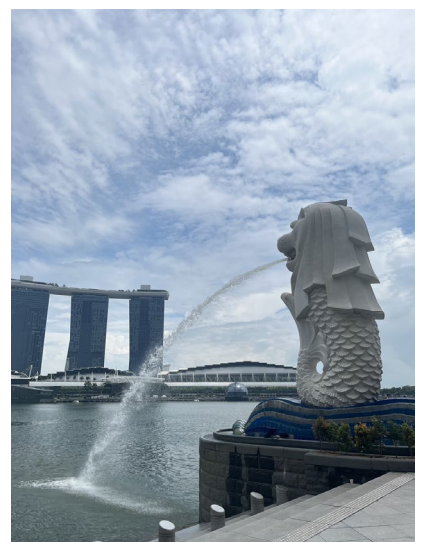
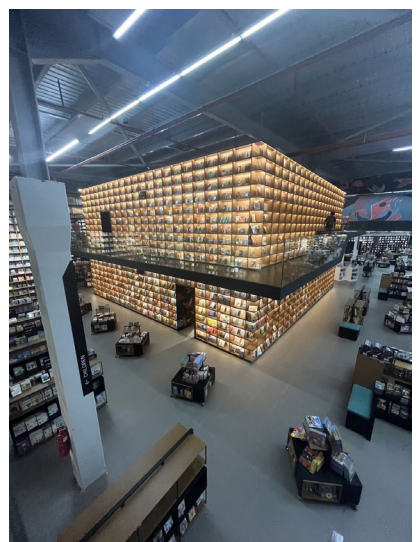
英語学習の必要性を感じながらも、モチベーションが低く日常的に学習に充てる時間がほとんどない状況に直面し、英語学習のきっかけを作るため、語学研修に参加することを決意しました。マレーシア工科大学のプログラムは比較的短期間でしたが、おそらく人生で最も充実した2週間を過ごすことができました。日本人、一人一人にマレーシア人のバディが付いて、バディとコミュニケーションを図ることで、英語力を向上させる絶好の機会となりました。

授業がある日もない日も毎日早起きで朝から夜までしっかり予定がありました。授業の時間は長かったですがとても難しいということはなく、基本的なことを楽しく学べる場でした。授業が終わった後はバディに毎日夜ご飯に連れて行ってもらいました。また、授業のない日は朝から夜までバディに車でいろいろなところに連れて行ってもらい、現地の文化や生活に触れることができました。バドミントンやボーリング、カラオケなど様々なアクティビティを一緒にやり、とても絆が深まりました。2週間の間に英語でのスピーキング力が大幅に向上したわけではありませんが、リスニング力は飛躍的に向上し、簡単な英語を使って日常生活を送る自信を得ることができました。また、英語学習へのモチベーションも高まりました。

この2週間のプログラムから得たものは非常に大きいです。リスニング力の向上はもちろんのこと、異なるバックグラウンドを持つマレーシアの人たちとの交流を通じて国際的な視野を養うことができました。さらに、一緒に参加した芝浦の学生ともたくさん接し、異なる学部や学科を超えた友情を築くことができました。今後は、この語学研修で培った力をもとにして、さらに英語力を向上させていきたいです。

2024年春渡航

📷 工学部 情報通信工学科 2年 武田 基さん





楽しい2週間でした！
初めての海外で不安もありましたが、
とても有意義な時間を過ごせました！

システム理工学部 電子情報システム学科
2年 里見 真萌さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・UTM

私がこのプログラムに参加した理由は、元々1度でいいから海外に行ってみたいという気持ちがあったのとバディ制度に魅力を感じたからです。また、他のプログラムに比べて費用がかからない点にも魅力を感じました。

学校ではテキストを用いて英語を学習しました。日本のような静かな授業ではなく、レクリエーションを行いながら授業をするので、とても楽しかったです。また、インスタグラムの投稿やリール動画を作成するという課題もありました。農園見学や工場見学、マレーシアの伝統文化に触れる機会が沢山ありました。それらについてバディや見学先の施設の方々が丁寧に説明してくれるので、多くのことを学びました。私は英語が苦手な一度では理解できないことが多かったのですが、バディが分かりやすく説明してくれたり、ゆっくり話してくれたので、とても助かりました。このプログラムの最後の授業では一人一人プレゼンテーションを行いました。バディと一緒にプレゼンテーションの資料や原稿を作成してくれます。プレゼンテーションを行う機会は滅多にないので貴重な経験ができました。

放課後は、バディと食事をしました。マレーシアは物価がとても安いので、日本の外食よりお金がかかりません。私は辛い物が苦手なのでマレーシアの食事に不安がありましたが、辛い食べ物も沢山とはいえませんがある程度はありました。少なくとも私はこのプログラム中に辛い食べ物を食べずに過ごせました。辛い物が苦手な方は、バディに伝えておくといいと思います。これは余談ですが、整腸剤は一応持っていくと安心かと思います。

このプログラムを通して、英語に対するモチベーションが上がりました。バディの英語が聞き取れないことや自分の考えを伝えられないことがあって、とても悔しいような気持ちになりました。今回のプログラムでの学びを通して、これからの英語学習に役立てようと思います。



英語が本当に出来ない私でも、
英語に対する壁がなくなりました！

デザイン工学部 デザイン工学科
1年 昼間 瑞希さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可


派遣先：マレーシア・UTM

私は、海外の人々とコミュニケーションが出来ることにとても憧れを持っていました。しかし、中学の頃から英語に対する苦手意識があり留学に対して不安があったのでアジアの学生は第二言語として英語を学ぶことを聞いて留学へのハードルが下がった為留学を決めました。アジア2週間の中でも一人一人に現地の学生がついてくれるマレーシアUTMは、現地の学生と沢山コミュニケーションをとれるようになり、お友達のような関係になりたいと考えていた私にはとてもピッタリなプログラムだと思いました。

現地での生活は、先生の話聞く授業は2時間程度で校外学習などが沢山ありました。校外学習には現地のUTMの学生もついてきてくれるのもっと分かりやすく説明してくれたり、分からないことは後から学生に質問したりしました。マレーシアは様々な宗教の方々が生活しているので日本にいただけでは普段体験できないような考え方、文化に触れることが出来、考え方の違いに対して寛容になったと思います。また、このプログラムの一番のポイントである一人につき一人の現地学生が付くので、毎日おいしいご飯や有名な場所に連れて行ってってくれたりしました。行くまでの間は英語でお話をしたり、音楽をかけて一緒に歌ったりと留学ならではの楽しみ方をして毎日があっという間に終わってしまいました。

私はこの留学に参加して日本に帰ってからもUTMで仲良くなった現地の学生と英語で連絡をしています。この経験がTOEICのスコアに直結するとは考えていませんが英語は自分の意見を主張する為のツールのように感じ留学前と違い英語を見てもすぐに諦めなくなりました。私は人と話すことが大好きなので「会話したいから英語をもっと勉強しよう！」という気持ちを持つようになりました。今後長期休みは海外プログラムに参加してもっと様々な考え方を持つ人達と会話したいです。

本当に英語の出来ない私でも毎日英語を使って会話することで恥ずかしいなんて言う気持ちはなくなります。留学は現地の学生に沢山話しかけて仲良くなり何度も英語を活用する場所を繰り返すことで自然と会話できるようになります。英語が出来なくて悩んでいる人こそUTMにぜひ参加してほしいです！



現地の学生の方のおかげで
充実した2週間を過ごすことができました！

工学部 電気工学科 2年 御厨 沙良さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・UTM

以前から語学研修に興味があり、アジアにはいったことがなかったので、忙しくない1、2年の長期休みを使って行きたいと思い、このプログラムに決めました。

このプログラムの1番の魅力は、バディ制度だと思います。この制度のおかげで、普段あまり積極的にいけない方でも、自分のバディと2週間関わるうちに仲良くなることができます。英語がそれほど得意ではなくても、単語や身振り手振りを使って、日本の友達などと話すときと同じように日常の何気ない会話が他国の方ともできることを実感できます。また、その会話がもっと英語力を高めたいという気持ちにも繋がりました。放課後や休日は、何人かの日本人、マレーシア人のバディで出かけることが多いです。ショッピングモールやスタジアム、バザー、レストランなど、毎日違う場所に連れて行ってくれます。マレーシアの文化や食べ物、宗教などについてたくさん知ることができます。マレーシア工科大学の学生の方たちは、とても親切で授業中に分からないところがあれば一緒に考えてくれたり、フレンドリーで沢山話しかけてくれます。自分とは違う国に住んでいる方と話すことは、日本との文化の違いや逆に同じところなども知ることができて、新鮮で楽しかったです。授業では、英語でゲームをしたり、マレーシアで働く日本人の方の工場を見学したり、日本の伝統文化を紹介したりしました。毎日、新しいことを経験できる2週間で、楽しかったです。また、普段関わることのない他学年や他学科の芝浦生とも仲良くなることができます。他国であることもあり、日本人同士が助け合う機会も多く、仲良くなりやすいです。どれも貴重な経験になり、このプログラムに参加してよかったと思っています。

今後も、日本人だけでなく他国の方など色々な方と交流できる機会があれば、積極的に参加していきたいと思っています。そのためにも、英語力を伸ばしていきたいです。長期休みはなにもせずにいつの間にか終わってしまっていることがよくありましたが、今回は充実した長期休みを過ごすことができました。ずっと一緒にいてくれたバディや仲良くしてくれたマレーシアの学生の方々には、とても感謝しています。



英語を話すことへの抵抗がなくなりました。
充実したあっという間の楽しい2週間でした！

工学部 応用化学科 2年 中村 天音さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：マレーシア・UTM

中学生の頃から英語が苦手で、英語に対する苦手意識を変えるために語学研修に参加することを決めました。UTMではバディ制度があります。この制度があるのが魅力だと感じ、マレーシアの2週間の語学研修に決めました。

授業は簡単で、英語が苦手な私でも楽しめるような内容でした。最後に簡単なプレゼンを行うのですが、バディがスライドや文章と一緒に考えてくれてとても助かりました。授業の他に大学内の見学やアクティビティなどが多く、ずっと座って勉強するようなことはなく楽しかったです。今まで英語を話す機会があまりなかったので、はじめはバディとコミュニケーションをとるのが少し大変でした。しかしバディはみんな優しく、わかりやすくゆっくり説明してくれたり、私の伝えたいことをしっかり聞いてくれて答えてくれました。

放課後にはバディが夜ご飯や、ジョホールバルの様々な場所に連れて行ってくれました。毎日外に連れて行ってくれるので体力的には疲れますが、マレーシアの生活の中で一番楽しかったです。グループで行動するので他のバディや他の日本人の友達もできました。2週間も日本を離れることは初めてでしたがあっという間の充実した2週間でした。最終日はシンガポールを観光できるのでうれしかったです。

英語に対する苦手意識は少なくなったと思います。最初は参加するかすごく迷ってました。マレーシアから帰ってきてから考えると本当に行ってよかったと思います。今もバディとは連絡を取っています。また行きたいし、会いたいと思うような人たちばかりでした。迷っている人や英語が苦手だと思う人は絶対に行ったほうがいいです！そう思うくらい楽しかった2週間でした！

2024年春渡航

📷 工学部 応用化学科 2年 中村 天音さん

